

事務事業 No./名称	■サービス部門 健福-01 □支援部門		社会福祉運営事業				
主管課	福祉政策課	関連課	こどもみらい部・健康福祉部の各課				
分野名	健康福祉						
目標 (目標値)	市が行う福祉施策を適切に行うことができるようシステムの保守等、適切な後方支援を行う。						
人口等のデータ	データ区分	22年度	21年度	20年度	備考		
	人口	177,161人	176,669人	176,484人	・各年4月1日 (住民基本台帳)		
	世帯数	78,812世帯	78,131世帯	77,430世帯			
	事業の対象者数						
事業費(千円)	19,721千円	25,150千円	24,636千円				
運営資源状況	(国・県)	33千円	4千円	29千円			
	(負担金等)	0千円	0千円	0千円			
	(一般財源)	19,688千円	25,146千円	24,607千円			
	人員配置数	3.7人	3.7人	3.4人			
	人件費(千円)	33,201千円	34,235千円	31,257千円			
	協働のパートナー	無	無	無			
	事務事業運営経費	総事業費(千円)	52,922千円	59,385千円	55,893千円		
	市民1人当りの経費(円)	299円	336円	317円			
	対象者1人当りの経費(円)						
ベンチマーク (県内外自治体や民間団体との比較値)	団体名						
指標	評価	年度	21年度	22年度	23年度	24年度	最終年度(年度)
		目標値					
		実績値					

中事業に含まれる小事業の評価(⇒個別事業の概要は裏面)

評価の視点	①効率性	事業費や人件費に削減余地はないか。	②妥当性	事業の目的と政策・施策体系の目標とが整合しているか。法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか。
	③有効性	事業の成果が得られているか。事業を休止・廃止した場合影響があるか。	④公平性	受益機会が偏っていないか。受益者負担は公平・公正か。
小事業名	H22決算値	評価	適切=○、要改善=△(評価の視点を参照)	⇒ 方向性 A:充実・拡大 B:現状継続 C:改善・見直し D:統合縮小 E:廃止・休止
社会福祉運営事業	19,721千円	①効率性 ○ ②妥当性 ○ ③有効性 ○ ④公平性 ○		⇒ □A ■B □C □D □E
	事業の概要	社会福祉事業全般の運営に係る経費を執行する。 社会福祉事業全般に係る福祉総合システムの機器借料や保守に係る経費を執行する。		
		①効率性 ②妥当性 ③有効性 ④公平性		⇒ □A □B □C □D □E
	事業の概要			
		①効率性 ②妥当性 ③有効性 ④公平性		⇒ □A □B □C □D □E
	事業の概要			
		①効率性 ②妥当性 ③有効性 ④公平性		⇒ □A □B □C □D □E
	事業の概要			
		①効率性 ②妥当性 ③有効性 ④公平性		⇒ □A □B □C □D □E
	事業の概要			

中事業の評価結果

事業診断(課長評価)	
H22年度の課題	なし
課題解決のための取組	なし
未解決の課題	福祉総合システムで使用しているOA機器の使用期間が5年を越え、再リースとなっている。機器の更新が必要である。
今後の方針	福祉総合システムで使用する機器を更新する。
今後の方向性	A:充実・拡大 B:現状継続 C:改善・見直し D:統合縮小 E:廃止・休止 ⇒ B ※ □事業完了 課長名 福祉政策課長 鈴木 善博

